

事例3：株式会社一旗 (デジタルコンテンツの利活用ノウハウ向上等による、事業の強靱化)

知的財産戦略

契約

ブランディング強化

知的財産経営実践の概要

解決
したい
課題

デジタルコンテンツの知財面での利活用ノウハウを一層高めたい

- AI・データ活用の観点で、法的判断が白黒ついていない問題にも一部直面しつつある。また、他社との差異化を図る戦略の磨き上げに課題意識。成長フェーズの中、国内外への展開に向けて効果的な知財戦略を構築する余地があるのか知りたい

ハンズ
オン
支援

デジタルコンテンツの制作・利活用に関する知財ノウハウを一層高め、知財戦略の裏付けを伴う形で、事業構造の改良を図る
訪問支援：3回

専門家によるハンズオン支援

- ▶ コンテンツの保護・活用に関して、著作権だけでなく、複数の法域（データ・利用規約・特許・商標・営業秘密等）から方策を考案することを助言
- ▶ 体制強化に資するブランディングを講じる余地があることを助言

結果
・
成果

著作権の最新動向を把握しつつ、知財ミックスのイメージを理解。経営課題にブランディングがどうかイメージを醸成。

今後の取組課題

- ✓ 生成コンテンツの一次・二次利用を促進・保護する各種の知財活用策を講じる
- ✓ 短中期の経営課題を意識したブランディングの活動に取り組む

取組の詳細

- プロジェクトマッピングに関する事業構造や業界概要を把握。直近に対応が必要な事項を把握。
- プロジェクトマッピングに関する知財権の利用可能性と、AI著作物に関する昨今の動向を議論。
- 新たな制作方法（AI活用）や上映技法について、多角的に知財保護の可能性を議論するとともに、潜在的なリスクの洗い出しを実施した。
- 海外展開に特有の知財保護の論点について、頭出し的に議論を実施した。
- 外部連携先との契約におけるポイントや注意事項を議論した。
- 「技術」や「組織づくり」など多角的にブランディングを捉え、今後の事業フェーズで求められる取り組みを議論した。
- 制作コンテンツの副次利用に関するアイデア出しと、利用に伴う注意事項を議論した。



企業の声

急激な事業拡大に体制が追いつかない中で、攻めと守りの両面から斬新なアプローチも含め的確なアドバイスやアイデアを得ることができ、知見を深めることができた。テクノロジーブランディングという視点は画期的で、デザインマネジメントという考え方も今後の成長戦略に取り込んでいきたい。知財保護やリスクの認識もアップデートされた。得られた成果をもとに体制を構築し、日本が世界に誇る知財や技術の価値を最大化できる事業運営を目指していく。

企業概要

業種	情報通信業（プロジェクトマッピング・インスタレーションの企画制作・設計施工・実施運営）				
住所	愛知県名古屋市	URL	https://www.hitohata.jp/		
創業	2019年7月	従業員数	4人	資本金	3,000万円

支援専門家（回数）

支援コーディネータ
弁理士・弁護士（3）
同行専門家
デザインプロデューサー
（2）